



美人ガイドとツーショット

三方岩岳は 300 名山の一つであるのでこのツアーに申し込んだ。そしたら 2015 年にすでに登っていたことが後でわかった。あの時は大笠山と大門山と一緒に登ったので最初に登ったこの山のことはすっかり忘れてしまった。あの時も天気は雨だった。今回はこの山だけであるので、更に白山近くの野谷荘司山という人の名前のような山まで足を延ばした。白山連峰の北のはずれである。

この日の現地ガイドは美人の宮下さん。残念ながらダンナもガイドらしく娘もいるという。三方岩岳の山頂では倒れた山頂標識を支えながら記念撮影に収まってくれた。野谷荘司岳では山頂標識を持参の金槌と釘でメンテナンスまでしていた。毎日旅行のツアーリーダーはメインが元気印の戸村さんで、サブが女山ボスの



2015年の三方岩岳

上野さんである。メンバーは男が4人で女が15人といういつもの構成パターンである。Kシワギさんがいた。

初日は天生湿原の散策である。湿原探勝とタカを括っていたらケッコウ登り降りがあつてホンのハラ減らしのつもりでいたら十分応えた。



天生湿原

雨に濡れた紅葉がちょうどよく、地元の人と思えるジーさんバーさんも散策をしていた。泊まりは白川郷の合掌造り民宿“原作”さんである。飛騨牛は旨かったが木綿豆腐やイワナなどはあまり感心しなかった。メンバーの中にノンベエが一人いて生二合を一本のつもりでいたら、もう一本と言われて調子に乗ってしまった。案の定翌日の野谷荘司岳ではジーさんバーさんに後れを取ってしまった。普段は眠れないなどということはないのにケッコウ寝付かれなかったのも響いたかもしれない。しかしそんなことよりもやはり“老い”が一番である。



白川郷の合掌造り



野谷荘司山